

I. 施設の状況◀	
1. 施設の設備◀	
①施設の種別◀	無床診療所◀
②病床数◀	0 床◀
③ペーシェントステーション台数 (透析ベッド数) ◀	55 床◀
2. 施設の機能◀	
①準夜透析の可否 (21 時以降終了) ◀	可◀
②透析室の終了時間 (通常時の最終透析回収時間) ◀	22 時 30 分◀
*透析の開始時間◀	8 時◀
*長時間透析の可否 (5 時間以上) ◀	可◀
③オーバーナイト透析の可否 (日をまたがる透析で 6 時間透析以上) ◀	可◀
④在宅血液透析の可否◀	可◀
⑤オンライン HDF の可否◀	可◀
*CAPD の可否◀	可◀
⑥シャント手術の可否◀	不可◀
⑦PTA の可否◀	可◀
⑧障害者自立支援医療機関かどうか◀	自立支援医療機関である◀
⑨処方区分 (院内処方・院外処方) ◀	院外処方◀
⑩ 腎代替療法実績加算の有無◀	有◀
⑪下肢抹消動脈疾患指導管理加算の有無◀	有◀
3. 医療スタッフの状況◀	
①透析に関わる医師数◀	常勤：1 名 非常勤：15 名◀
②透析医学会会員の医師数◀	4 名◀
③透析専門医の人数◀	4 名◀
④透析技術認定士の人数◀	4 名◀
⑤透析に関わる看護師数◀	常勤：11 名◀
⑥腎不全看護認定看護師の人数◀	0 名◀
⑦慢性腎臓病療法指導看護師の人数◀	0 名◀
⑧透析に関わる臨床工学技士数◀	常勤：11 名 非常勤：2 名◀
⑨血液浄化専門臨床工学技士の人数◀	0 名◀
⑩認定血液浄化臨床工学技士の人数◀	1 名◀
⑪透析に関わるメディカルソーシャルワーカーの人数◀	0 名◀
⑫管理栄養士の人数◀	非常勤：2 名◀
*組織体制の状況◀	
*医療安全委員会の有無 (災害、感染対策を含む) ◀	有◀
*事故報告体制の有無◀	有◀
II. 患者の状況◀	
①外来 HD 患者数◀	139 名◀
②外来 PD 患者数◀	3 名◀
③外来透析患者に対する後期高齢者患者の比率◀	28.1%◀
III. 治療指標 (外来 HD 患者対象) ◀	
①腎性貧血管理 (Hb 10.0 g/dL 以上の比率) ◀	83.5% (平均：11.0g/dL)◀
*ESA 使用量(ESA 製剤エポジン換算 9000U/週以下の比率)◀	100% (平均：1597U/週)◀
*ERI 【ESA (U/週)/Hb(g/dL)/DW(kg)】 9.44 未満の比率◀	94.2% (平均：3.0)◀
*TSAT 管理(TSAT20%以上の比率)◀	84.2% (平均：29.8%)◀
②P 管理 (P 6.0 mg/dL 以下の比率) ◀	89.2% (平均：4.6mg/dL)◀
*補正 Ca 管理(cCa10.0 mg/dL 以下の比率)◀	99.0% (平均：8.7mg/dL)◀
③PTH 管理 (iPTH 240 pg/dL 以下 または WholePTH 150 pg/dL 以下の比率) ◀	86.3% (平均：138.3pg/dL) ◀
④透析時間 (4 時間以上の患者の比率) ◀	100% (平均：5.2 時間) ◀
⑤透析時間 (5 時間以上の患者の比率) ◀	76.3%◀
⑥透析時間 (6 時間以上の患者の比率) ◀	22.3%◀
⑦透析量 (sp Kt/V 1.2 以上の比率) ◀	84.9% (平均：1.81)◀
*β2MG 管理 (β2MG 30mg/L 以下の比率) ◀	82.7% (平均：25.0mg/L)◀